

古い政治を壊し、新しい政治を創る

日本維新の会 中期経営計画

2023年 ver





2022年 8月
結党以来 初の代表選挙の実施

2022年 8月～新体制

馬場 伸幸	代表
吉村 洋文	共同代表
藤田 文武	幹事長
音喜多 駿	政務調査会長
やながせ 裕文	総務会長

維新



現国会議員

61名

衆議院議員 40名

参議院議員 21名

2023年2月5日時点

維新



大阪府下 地方議員 + 首長

2022年3月

259名



268名 ^{+9名}

維新



日本全国 地方議員 + 首長 (大阪除く)

2022年3月

152名



200名 ^{+48名}

2023年2月5日時点

202X年

【中期目標】 次期衆議院総選挙

2023年
4月

【短期目標②】 統一地方選挙

2022年
7月

**【短期目標①】
参議院選挙**

実行戦略

実行戦略

実行戦略

現状把握

短期目標①

2022年7月 参議院議員選挙

参議院選挙後 議員数 21名以上へ

短期目標②

2023年 統一地方選挙 後

地方議員数 600名以上へ

※2022年当初 約400名（大阪府下約250名、大阪以外150名）

中期目標

次期 衆議院選挙 後

野党第一党を獲得！

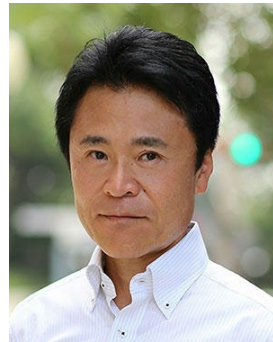
短期目標① 2022年参議院議員選挙 結果

候補者数

選挙区 20名 全国比例 26名

当選者数

選挙区 4名 全国比例 8名



改選 6議席 → 12議席 合計21議席

2022年参議院選挙当選者

短期目標① 2022年参議院議員選挙 結果

全国
比例票

全国比例 野党 第一党の得票率

維新 **7,845,995**票 (14.8%)
立憲 **6,771,945**票 (12.8%)

↑ ↓ 1,074,050票差

ただし立憲民主党は、選挙区：10名 / 比例区：7名の当選。

得票率の
伸びた
都道府県

		前回からの伸び率	2019年参議院選挙	2022年参議院選挙
1位	京都	12.2% UP	11.2%	23.4%
2位	奈良	8.9% UP	17.5%	26.4%
3位	山梨	8.8% UP	4.7%	13.5%
4位	徳島	8.3% UP	8.5%	16.8%
5位	栃木	8.1% UP	4.7%	12.8%
6位	神奈川	7.0% UP	8.8%	15.8%
7位	秋田	6.8% UP	4.2%	11.0%
8位	千葉	6.7% UP	6.1%	12.8%

戦略実行のための共通コンセプト

「ベンチャー企業、地域限定企業」から
「**上場準備企業、全国展開企業**」への戦略的飛躍

新しい政党、新しい政治の在り方を
広く国民へ訴求すること

政権獲得への意思を明確に持った野党第一党として
必要な要素をすべて兼ね備えた組織を構築すること

- 1 地方組織の強化
- 2 人財発掘プロジェクト
- 3 全国政調会
- 4 党本部機能の強化

1. 地方組織の強化

選対本部の常設化

※組織局を統合



- 藤田 文武 選対本部長
- 井上 英孝 選対本部長代行
- 浦野 靖人 選対本部長代理

実行タスク

全ての選挙区の分析（過去の国政選挙、地方選挙の分析）

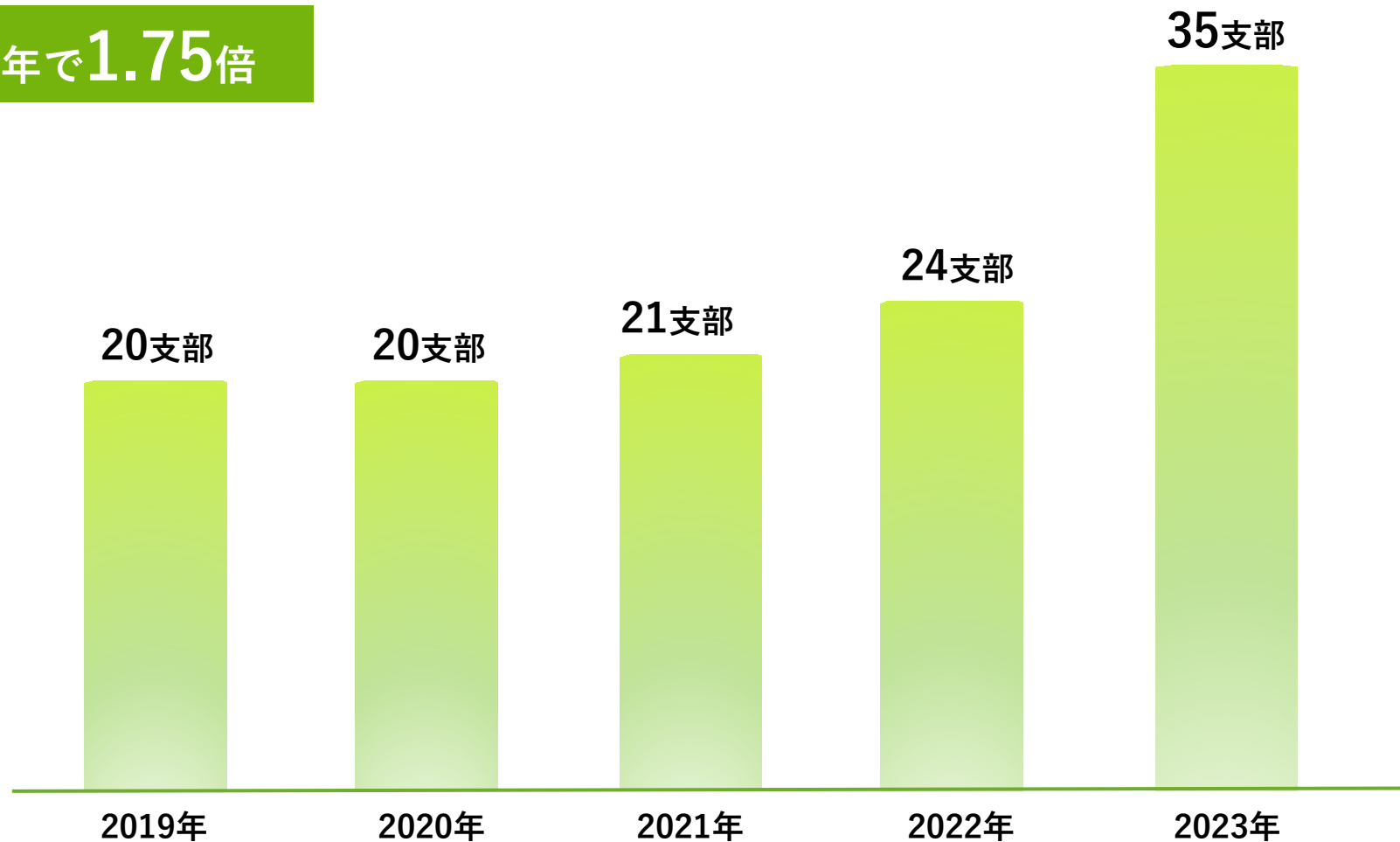
全総支部の擁立目標を統括

総支部の設立、候補者擁立のサポート

1. 地方組織の強化

総支部数の推移

5年で1.75倍



全ての年代の算出時期は1月1日を起算とする。

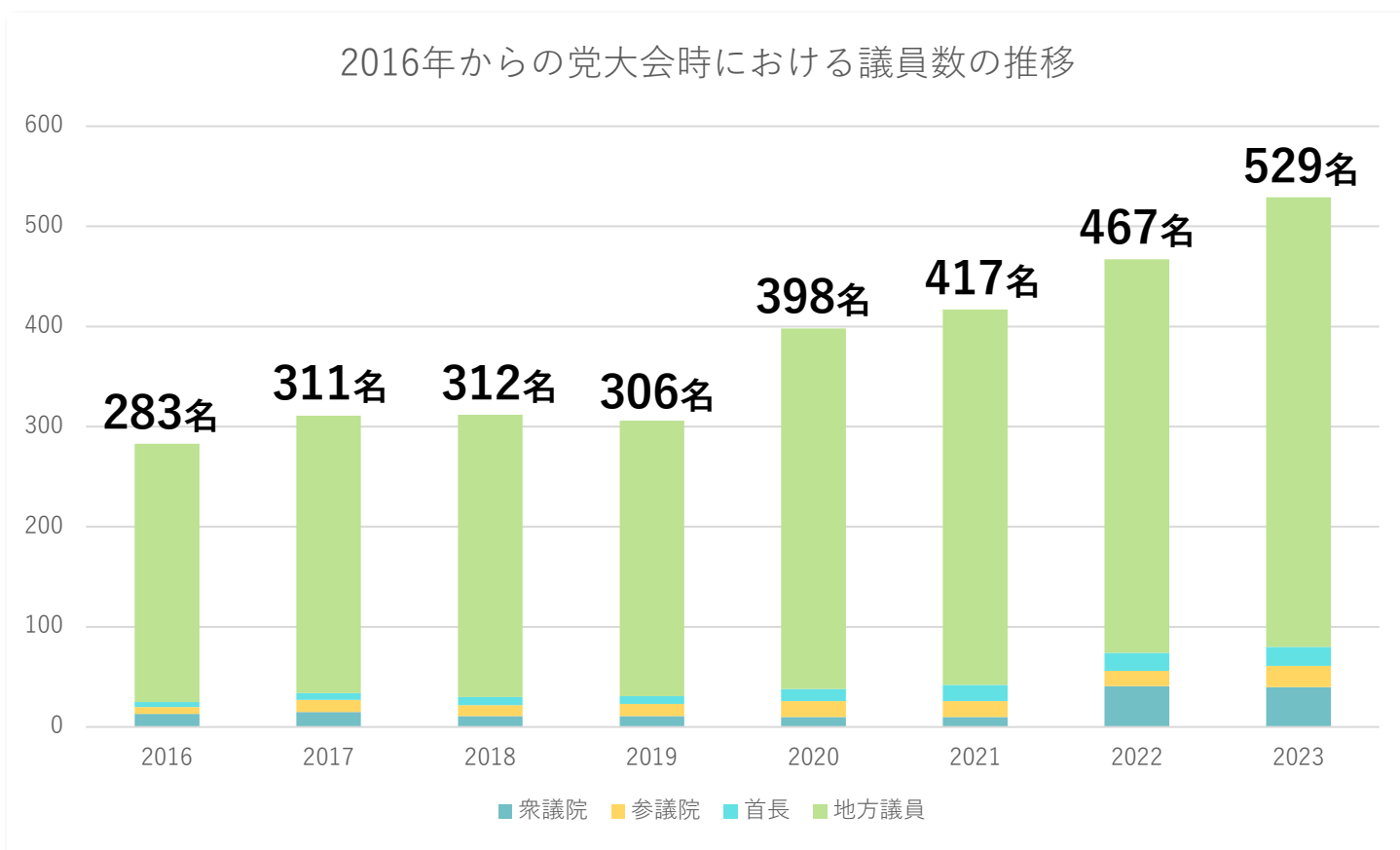
1. 地方組織の強化

各議員数の推移

5年で約**1.73倍**

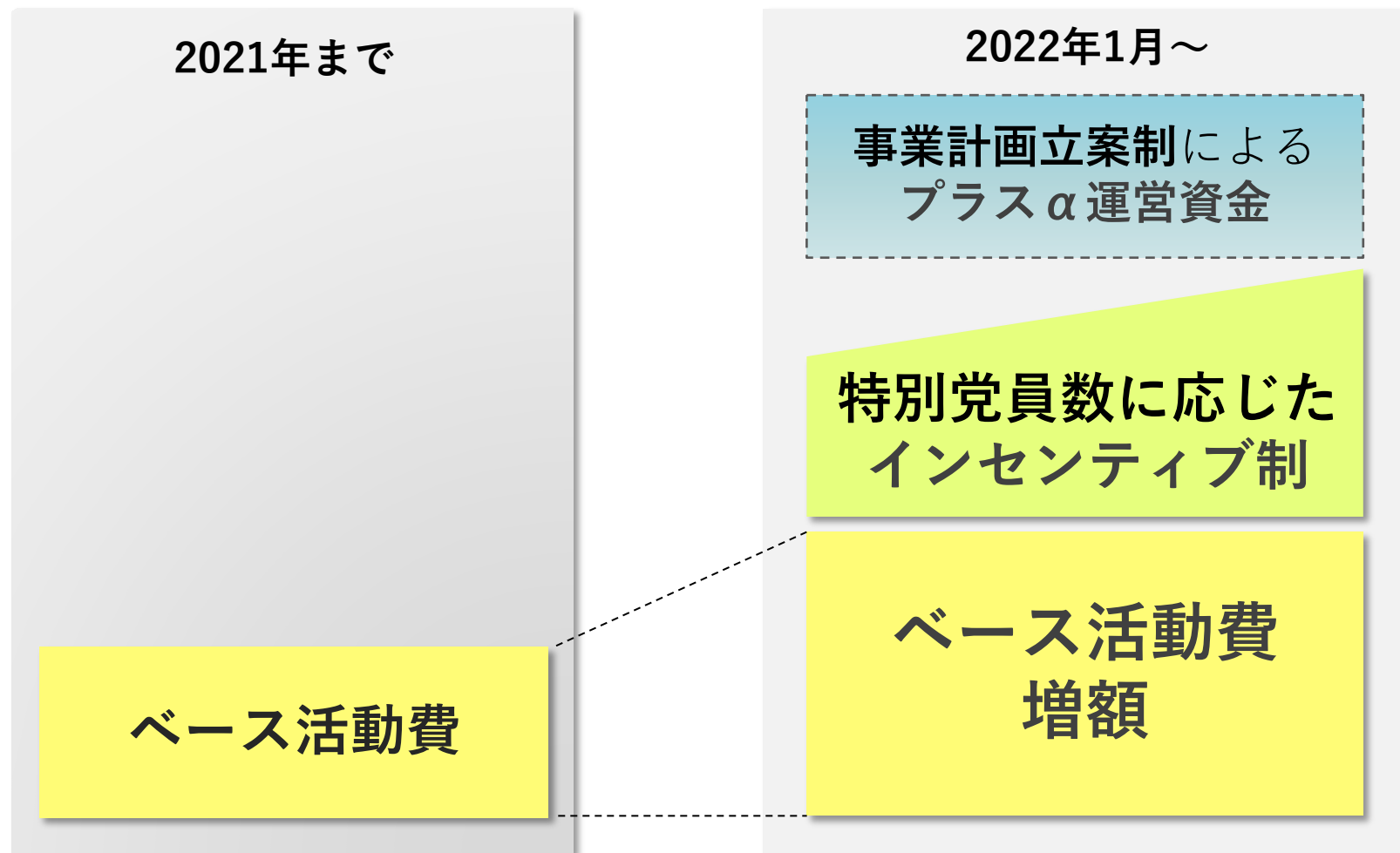
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
衆議院	13	15	11	11	10	10	41	40
参議院	7	12	11	12	16	16	15	21
首長	5	7	8	8	12	16	18	19
地方議員	258	277	282	275	360	375	393	449
合計	283	311	312	306	398	417	467	529

2016年からの党大会時における議員数の推移



1 . 地方組織の強化

活動資金の戦略的配分



1. 地方組織の強化

事業計画立案制によるプラスα運営資金

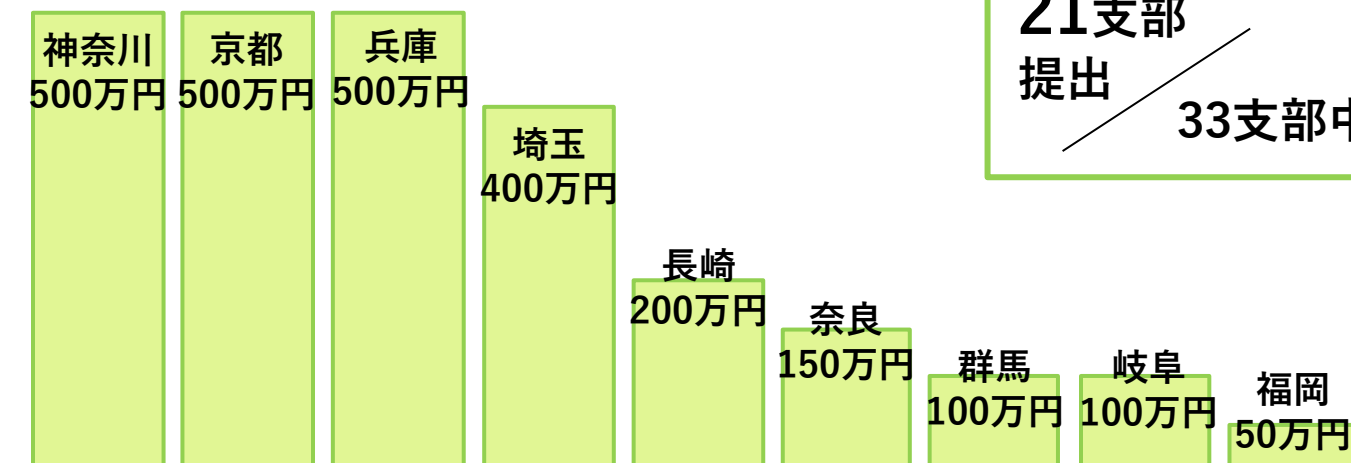
審査
基準

擁立目標
必達当選目標

事業計画書の
妥当性

擁立状況の
進捗度合い

審査
結果



21支部
提出
33支部中

9支部へ
総額
2500万円

2. 人財発掘プロジェクト



日本維新の会

不屈、求む。

人財発掘プロジェクト
2023年 統一地方選挙
公認候補者 募集中

今、最も急務に感じている政治家が多すぎる。
批判を恐れ、反論を恐れ、選挙を恐れている政治家は増えている。
政治は停滞する。この国は沈没してしまふ。
子どもたちが誇りを捨てる街、成長する日本を創るために、
覚悟を持って立ち上がり、超えることなく前に進む。
これこそが政治家の役割だと思ふ。
怖い思いさえあればいい。
未来のために、共に挑戦してみないか。

日本維新の会
人財発掘プロジェクト
公式WEBサイト



日本維新の会

共に、挑もう。

人財発掘プロジェクト
2023年 統一地方選挙 公認候補者 募集中

日本維新の会
人財発掘プロジェクト
公式WEBサイト

2. 人財発掘プロジェクト

全国ご当地維新塾実績

大阪維新政治塾	開講期間：令和4年3月～9月	全6回
兵庫維新塾	開講期間：令和4年1月～6月	
京都維新政治塾	開講期間：令和4年5月～10月	全6回
奈良県総支部政治塾	開講期間：令和4年8月～令和5年2月	全5回
愛知維新政治塾	開講期間：令和4年4月～令和5年3月	
滋賀維新塾	開講期間：常時2ヶ月に1回 隔月開催	
維新塾 in Tokyo	開講期間：令和4年1月～6月	全6回
埼玉維新塾	開講期間：令和4年4月9日～	全4回
千葉維新政治塾	開講期間：令和4年4月24日 / 5月22日 / 6月19日	全3回
神奈川維新政治塾	開講期間：令和4年2月5日～	全5回
福岡維新政治塾	開講期間：令和4年4月23日～	
信州維新政治塾	開講期間：令和4年5月～11月	全5回
新潟維新政治塾	開講期間：令和4年4月～12月	

2. 人財発掘プロジェクト

維新政治塾
ISHIN SEIJIJUKU

日本維新の会

DMM オンラインサロンにて開催

第1ターム

2022年4月～6月

全国から
129名

第2ターム

2022年8月～10月

全国から
139名

第3ターム

2022年11月～2023年1月

全国から
115名

総申込み数：**383**名

2. 人財発掘プロジェクト

維新LIVE! オンライン開催
2023年統一地方選挙
候補者エントリー説明会
～地方議員というキャリアを転職の選択肢に～
対象地域 東京・神奈川・千葉・埼玉
説明会へは全国からお気軽に参加いただけます
開催日時 第1回 - 2022年10月17日(月) 19:00～20:40
第2回 - 2022年10月29日(土) 10:00～11:40 女性限定

第1回 1都3県 96人 / 60人

第2回 1都3県 19人 女性限定 / 7人

第3回 全国 59人 / 21人

第4回 全国 36人 / 5人

第5回 全国 38人 / 24人

全5回開催

合計 248人申込

アンケート回答で
・ぜひ立候補したい
・前向きに検討したい
と回答した方

立候補意向
117人

2. 人財発掘プロジェクト

公認料 交付 スタート

※統一地方選挙以降、すべての選挙において公認候補に交付する

	該当選挙	金額 (供託金相当額)
首長選挙	都道府県知事選挙	300万円
	政令市長選挙	240万円
	市区長選挙	100万円
	町村長選挙	50万円
地方議員選挙	都道府県議会議員選挙	60万円
	政令市議会議員選挙	50万円
	市区議会議員選挙	30万円
	町村議員選挙	15万円

子育て中の候補者に対する支援について

現状の選挙制度・慣習においては、育児が生活の中心となる子育て世帯が政界に挑戦することは困難であり、とりわけ女性の政界進出のボトルネックになっていることが指摘されている。そこで、日本維新の会は現役世代・女性の政界進出をサポートするため、参院選に続き2023年統一地方選挙においても支援制度を継続する。

対象者

統一地方選挙に挑戦する予定で、子育て中の者



支援内容

政治活動・選挙活動の時間を確保するために利用するベビーシッターや一時保育の利用料など、保育に関わる費用の一部を負担（上限40万円）

備考

上記にかかるサポート費用は、政党助成金などの税金を原資とした政治資金ではなく、党費や寄付などの党一般会計から支出する

留意事項

- 女性のみならず、子育て中の男性も対象
- サポート対象者の子は12歳児まで



参院選では、男性2名 / 女性1名が利用。統一地方選においても申し込み受付中。

2023年の主な活動予定

- 全国政調会長会議（党政調会）を定期的に開催
- 統一地方選挙に向けた統一マニフェストを策定
- 各地の地域版マニフェストの策定をサポート



3月中旬を目処に統一選に向けた
マニフェストを発表予定

2023年に強化を目指す取り組み

有識者との連携強化

- ➔ 外部講師による勉強会は、できるかぎり特別党員全員が参加できるように調整

各地方議会の横のつながりを強化

- ➔ 国政への意見書・決議等を各地方議会から一斉に出すこと等も積極的に検討し、党政調会でサポート

地方議員政策コンテストの開催

- ➔ 2022年第一回を実施、実績を踏まえて2023年はさらにパワーアップして開催予定

政策募集・
政策コンテスト

結果発表



最優秀賞



優秀賞



優秀賞



優秀賞

空き家・空地进行地域で活用

こどもの視点に立った政策提案
地方自治体による面会交流、連れ去り・貧困を防ぐ政策

地域をさらに強くする市町村M&Aの研究

Park-PFIは当たり前？
全ての場所を開放する”公有地-PFI”

コンテスト企画

国会議員と比較して調査リソースの少ない地方議員の調査研究をバックアップするために企画。

応募総数は15件。厳選なる選考の結果、優れた政策に対して政調会が調査研究費用をサポートし、ボトムアップで政策の具現化を目指す。

調査費用金額

名称	支援額 (目安)	人数	支援期間 (目安)
最優秀賞	300万円	1名 または1チーム	決定後 3ヶ月間
優秀賞	100万円	最大3名 または3チーム	

4. 党本部機能の強化

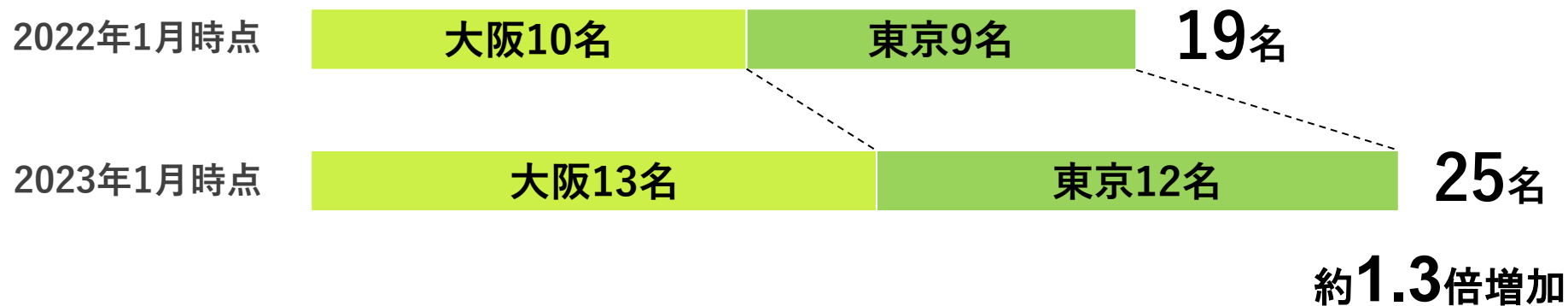
党本部職員の体制強化

- 1 計画的かつ戦略的な採用計画、民間企業からの積極採用
- 2 組織拡大を支える重要部門（選対本部 / 広報本部等）の常設化
- 3 党職員の働き方改革を実現し“選ばれる組織”へ

目標達成のための機動的な本部組織へ

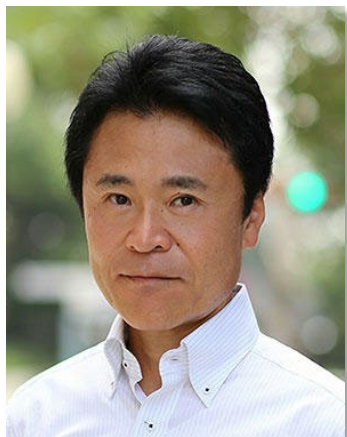
4 . 党本部機能の強化

党本部 職員数



ハラスメント相談窓口の設置

2022年11月より運用スタート



内部 委員長 梅村 聡 参議院議員 / 医師

内部 委員 串田 誠一 参議院議員 / 弁護士

外部 委員 弁護士 1名 / 社労士 1名

上記4名へ相談先が選択できる仕様となっており
個人情報保護方針に基づき運用。

機関紙・公式HPリニューアル



日本維新の会 10年ビジョン [馬場伸幸新代表 公約]

継新スピリッツの継承

- 1 最も明るく活発な党員を政治活動家として育てる
- 2 既得権益の打破
- 3 若い力の活用 実直に努力する人に光を照らす組織

中長期実行計画の具体的な目標

党綱基本原則	党綱基本原則	党綱基本原則
<ul style="list-style-type: none"> 地方組織の強化 選挙本部の強化 広報局の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 憲法改正 新しい国のかたち 日本大改革プラン 地方分権 経済活性化 国土強靭化政策 教育を重視し、社会政策推進 労働者保護を徹底する 	

PICK UP ISHIN!
第26回参議院議員
通常選挙で勝利した
当選者12名を紹介!

選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別
選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別	選挙区別

日本維新の会 日本維新の会について 政策 活動情報 選挙情報 党員・関係者 資料 募集 公認候補者 募集

共に挑もう。

人財発掘プロジェクト 2023年 第一地方自治 公認候補者 募集中

日本維新の会について +
政策
活動情報 +
選挙情報 +

統一ユニフォーム作成



広報局の強化

政党ポスター制作



CM・動画制作



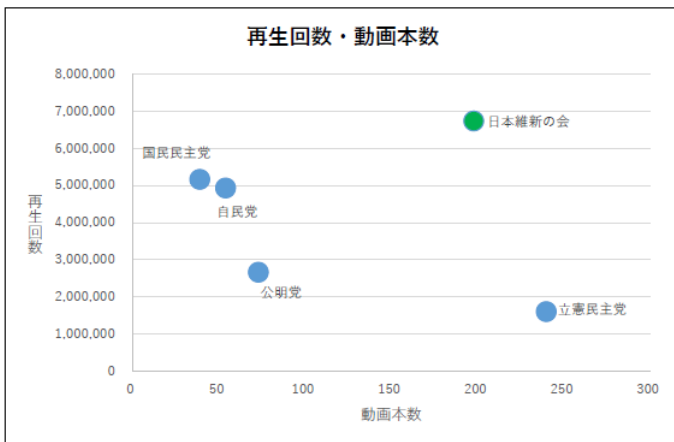
広報局の強化

他の主要政党と比較して圧倒的な動画再生回数

参議院選挙時のYouTube動画再生回数・高評価数となった（広告配信と思われる再生数を除く）

▶ 総再生回数
474 万回
視聴

👍 高評価
4.8 万



主要政党の短尺動画施策

	日本維新の会	自民党	公明党	立憲民主党	国民民主党
投稿本数	51本	3本	14本	237本	2本
再生回数	474万回再生	1.7万再生	60万再生	23.8万再生	0.7万再生
施策					


代表キャラバン

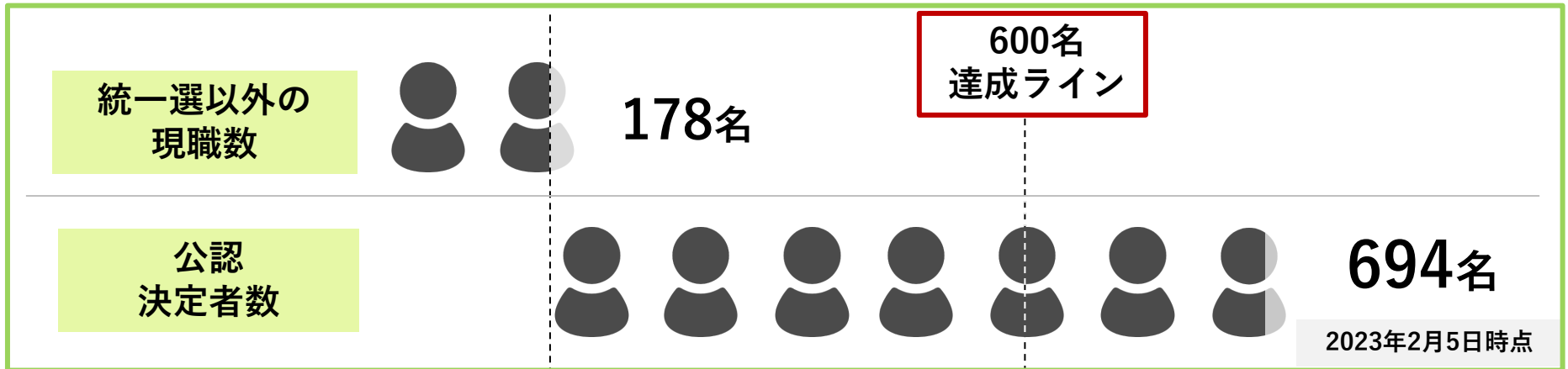


約3か月で
15 都道府県



擁立状況進捗

 =100名



強化指定地域

SS

大阪

A

神奈川 / 京都

S

兵庫 / 東京

B

埼玉 / 愛知 / 奈良 / 福岡

C

千葉 / 和歌山

※強化指定地域=擁立目標人数の多い支部

短期目標①

2022年7月 参議院議員選挙

達成

参議院選挙後 議員数 21名以上へ

短期目標②

2023年 統一地方選挙 後

地方議員数 600名以上へ

※2022年当初 約400名（大阪府下約250名、大阪以外約150名）

中期目標

次期 衆議院選挙 後

野党第一党を獲得！

現在の延長線上に、
解決策は無い。

これからの10年：
衆議院議員総選挙 3回以内での政権奪取

今こそ、
「日本大改革」を。